

認定特定非営利活動法人  
しみん基金・こうべ

2022 年度事業報告書



2023(令和5)年6月

## 総括

コロナ禍も丸3年目でようやく社会では行動制限がなくなり、少しずつコロナ前を取り戻しつつある。

当基金は、7月に移転せざるを得なくなり事務所探しや、移転作業とそれに伴う事務に多くの時間を割いた。移転費用も掛かり、これまでなかった家賃負担が新たに発生している。財政状況も以前にもまして厳しい状態であり、助成事業の抜本的な見直しをできないままの状態が続いている。状況打開のため、休眠預金を利用し財政状況を好転させて本体助成の見直しにも活かせないかと考え申請したが、惜しくも採択にいたらなかった。申請作業には大きく手を取られたが、関係先等へのヒアリングなどにより課題が明確になったため、来年度再度申請し採択を目指すべく継続していく。

## 成果と課題

### ①助成事業

本体助成は例年どおり助成ができたが、応募団体数が減ってきている。また助成開始当初は全申請団体にヒアリングしていたが、現在は書類選考後にヒアリングを実施しており、書類だけでは選考が難しい場合もある。これら全般的に助成事業の見直しは必須で、数年来の課題となっている。はぁ〜とふるふぁんどは今年度も兵庫県遊技業組合の決定により今年度も休止で、来年度もまだ再開の予定はない。

### ②寄付・募金事業

2014年から寄付つき商品を販売してくださった(有)ボックさまの「有馬の塩クッキー」の販売が終了となり、(株)ノースフィールドによる学術書チャリティも先方が寄付先を子ども支援団体のみに限定したため終了となったが、新たな寄付システムは開拓できておらず大変厳しい状況となっている。今後景気の回復に合わせて新たな寄付の仕組みを開拓していくことが急務となっている。

### ③中間支援事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」を通じて、さまざまな情報が集まるため、それを利用し新たな事業を作っていくことを検討していきたい。

### ④運営管理

事務所移転により、事務所スペースが狭小になってしまったため、書類をデータ化し廃棄していく作業を実施。来年度も継続していく。

# 目次

総括	2
目次	3
1 助成事業	
ア) しみん基金・こうべ助成事業	
①2021 年度助成事業	4
②2021 年度しみん基金・KOBE 特別賞	6
③2021 年度黒田裕子賞	6
④2020 年度助成事業成果報告会	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	6
2 寄付・募金活動	
ア) 寄付金・募金受入	8
イ) イベント募金	9
①こうべ・あいウォーク 2022	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
①古着チャリティ事業	
②寄付つき商品（有馬ソルトクッキー、耐震補強パワープレート）	
③Yahoo ネット募金	
④学術書チャリティ	
⑤モノキフ	
⑥その他	
エ) 遺贈寄付	10
3 中間支援事業	
ア) 「つなごう神戸」運営事業	11
イ) KIITO:300 社会貢献事業	12
ウ) 広報・情報発信	12
エ) NPO 支援活動	12
オ) 防災啓発イベント事業	12
4 運営管理	
ア) 会議	13
イ) 管理等	13
ウ) 運営上の重要事項	14

# 1 助成事業

## ア)しみん基金・こうべ助成事業

### ①2022 年度助成事業

#### 1)助成の趣旨

しみん基金・こうべの助成事業は、地域を愛する多くの市民・企業等が自発的に寄付という形で資金を提供し合う形で基金を形成し、それらを市民社会組織に対して開かれた自律的なルールで助成することで、阪神・淡路大震災で体感した支え合い・助け合いの大切さを、公共を行政だけに頼ることなく自律かつ自立した市民一人ひとりによる共助・互助をベースとした草の根市民活動を促進し、真の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的としています。

#### 2)応募対象者

1. 阪神淡路大震災被災 10 市 10 町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体
4. 正味財産が 2,000 万円以下の団体

#### 3)助成金額

2022 年度助成事業は、助成総額 250 万円を助成しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 <b>金 50 万円</b> を上限とする。 助成総額は 200 万円までを予定。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 <b>金 25 万円</b> を上限とする。 助成総額は 50 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

#### 4)助成事業の内容

1. 2022 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。  
B. 地域との連携の観点を重視する。  
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
2. 助成対象期間：2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日まで。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）※交際費は

対象外。

5. 申請受付期間；2022年7月19日（火）～2022年8月31日（水）  
個別相談団体数：8件（うち1件キャンセル）  
申請受付団体数：17団体（一般枠：14団体、特定枠：3団体）

**5)書類選考** 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：2022年9月13日（火）17:00～19:00  
場 所：オンライン  
形 式：理事会にて審議  
選考結果：15団体（一般枠；12団体、特定枠；3団体、ペンディングとした3団体含む）

**6)ヒアリング調査** 書類選考でペンディングとなった3団体を先にヒアリングし、残り12団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、以下の通りヒアリング調査を実施した。

期 間：2022年9月20日（火）～10月7日（金）  
形 式：当基金理事による訪問（もしくはオンライン）、ヒアリング調査報告書の作成

**7)公開審査会** 書類選考された15団体のプレゼンテーションによる公開審査会を、以下の通り開催した。

開催日時：2022年10月27日（木）13:00～17:00  
会 場：こうべまちづくり会館  
出席審査員（順不同・敬称略）：  
津久井 進（審査員長）、山田 剛司、森崎 清登、相川 康子、菅本 郁、  
本荘 雄一、高田 佳代子、辻 幸志、石川 隆宣、岡野 亜紀子

**8)助成先決定団体・事業**

公開審査会での選考結果を受けて、下表の9団体（一般枠；7団体、特定枠；2団体）の各事業に合計2,489,000円（一般枠；2,000,000円、特定枠；489,000円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	(一社) 神戸親子遊び推進協会	すべての子どもを取り残さない！こどもレシピコンテスト
	2	ひょうご子どもの水辺交流会	「近畿子どもの水辺交流会」の開催
	3	(特活) 全国夜間中学ネット	学習支援塾「エデュケア」・自主夜間中学「エデュケアスクール」
	4	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 神戸実行委員会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン・神戸
	5	公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会	トラウマケアの視点をもった一時保育者養成講座
	6	(特活) フェミニストカウンセリング神戸	トラウマケアの視点をもった一時保育者養成講座
	7	ボランティアグループでいんぷる	大学生によるD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)プロジェクト
特定枠	T1	神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti	宮城県伊具郡丸森町における復興支援活動
	T2	全国災害ボランティア支援機構	東日本大震災被災者の継続支援と次世代を担う災害ボランティアの育成活動

## 9) 覚書締結・助成金交付

上記各団体とオンラインにて、2020年11月7日（月）に助成金交付に関する覚書を読み合わせ、郵送にて締結した。また、12月2日（金）に、各団体に対して助成金を交付した。

## 10) 助成先団体活動レポート

例年、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄付者や市民に知ってもらうため、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信している。

- ・7/2 全国ギャンブル依存症家族の会 兵庫
- ・8/17 (一社) Bokk Jambaar
- ・8/22 定住外国人子ども奨学金実行委員会  
(被災地に学ぶ会は昨年度3月に実施済み)

## ②2022年度しみん基金・KOBE特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与している。公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は神戸大学学生震災救援隊に決定し、2022年12月6日の成果報告会時に贈呈した。

## ③2022年度・第6回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰するもので、2017年度より創設されました。

9月理事会の審議の結果、第6回の受賞者は特定非営利活動法人ふぉーらいふに送ることに決定し、上記の審査会にて贈呈した。

## ④2021年度助成先事業成果報告会

2021年度助成事業（助成対象期間：2021年10月1日～2022年9月30日）について、1団体を除いて10月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会をコロナ禍のため、時間を短縮し下記の通り実施しました。

- ・開催日時：2022年12月6日（火）14:00～16:00
- ・開催場所：こうべまちづくり会館
- ・発表団体：（特活）ガジュマルの船（オンライン参加）、（一社）Bokk Jambaar、  
全国ギャンブル依存症家族の会兵庫、定住外国人子ども奨学金実行委員会、  
（一社）デフサポートかもめ、神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti  
被災地に学ぶ会

※神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti は、コロナ禍により事業を縮小し、一部助成金を返還されました。

## イ) はあ〜とふるふぁんど支援(ボランティアあしすと部門)事業(受託事業)

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋)

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成14年度よ

り毎年受託しています。

- ・主催：はーとふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

① 2022・2023 年度事業

ともに兵遊協理事会の決定により、実施が見送られた。

## 2 寄付・募金活動

### ア) 寄付金・募金受入

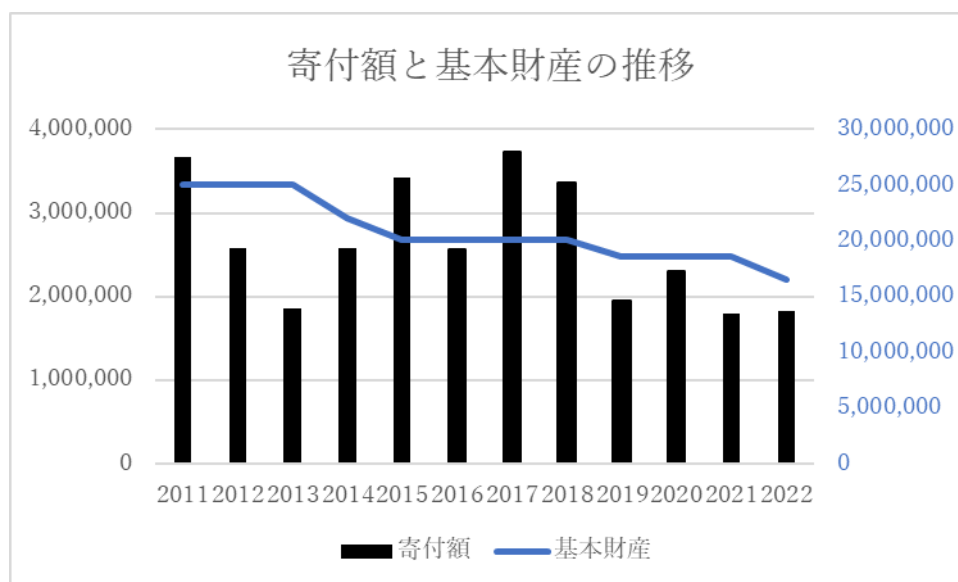
以下のみなさんより寄付金を頂いた。(敬称略・順不同)

中谷 豊	飛田 雄一	中島 秀男
高橋 俊行	江口 聡	瀬戸口仁三郎
宇都 幸子	山本 美恵	山田 剛司
髯本 郁	戎 正晴	津久井 進
山口 一史	白水 士郎	近藤 マヤ子
室崎 益輝	二木 一夫	沓澤 正明
山口 泰子	瀬戸口延恵	大崎 育代
中山 広隆	山口 聡子	
(株)フルハウス技研※1	(有) ボック※1	
ヤフー(株)	芦屋西宮市民法律事務所	今津建設(株)
(有)神戸国際マーケット※2	兵遊協福祉基金	
こうべあいウォーク 2023 実行委員会	オレンジスリフティ自販機募金	
しみん基金・こうべ事務所募金箱	審査会場募金箱	オレンジスリフティ募金箱
ボックサン三宮店募金箱		

総額 ￥1,829,087.-

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、※1印は寄付つき商品によって、※2印は現物寄付によってご寄付を頂きました。





## イ) イベント募金

### ① こうべ・あいウォーク 2023 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして、オフラインとオンラインとのハイブリッドで開催した。オンラインではクレジットや銀行振り込み、Tポイントにてご寄付いただいた。

- 主催：こうべ・あいウォーク 2023 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、ふたば学舎、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)
- 協力：近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ
- 日時：2023年1月15日(日) 9:30~13:00
- 場所：長田区(大国公園、カトリックたかとり教会、鉄人28号、大正筋商店街、ふたば学舎(旧二葉小学校)、丸互市場、本町筋商店街、水笠通公園、御蔵南・北公園など)
- 実績：寄付金額/¥298,346.-

## ウ) 協働企画寄付システム

### ① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としている。引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄付BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

■提携先：(有)神戸国際マーケット 寄付金額：¥239,502.-

### ② 寄付つき商品

#### 1) 有馬ソルトクッキー

2014年より神戸洋菓子「ボックス」のご協力により、寄付つきクッキー「有馬ソルトクッキー」(10枚入り、1080円・税込)をボックスの各直営店等にて販売し、その年間売上高の3%が当基金へ寄付していただいていたが、3月をもって販売終了となった。

■提携先：(有)ボックス 寄付金額：¥16,252.-

#### 2) 耐震補強金具パワープレート

(株)フルハウスミル並びに(株)フルハウス技研のご協力により、古い木造建築物の耐震補強工事で使用する耐震補強金具パワープレートを、直施行した現場施工分の年間売上高の5%が当基金へ寄付された。毎月施主あてにお礼状を発送した。

また市民活動団体からの紹介でフルハウス技研の受注につながった場合、その市民活動恵団体に紹介料が支払われる仕組みづくりを実施する予定だったが、コロナ禍で延期になっている。

■提携先：(株)フルハウスミル・(株)フルハウス技研 寄付総額：¥333,410.-

### ③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録している。2023年あいウォークもオンラインとオフラインの併用開催だったため、ご寄付はこちらのサイトからもいただいた。

■提携先：ヤフー(株) 寄付金額：¥12,872.- (あいウォーク分募金は含まず)

### ④ 学術書チャリティ

ノースブックセンターのご協力により、学術書の買取によりご寄付いただける仕組みであったが、先方が寄付先を子ども支援のみに限定したため、7月で終了となった。

■提携先：(株)ノースフィールド 寄付金額：¥0.-

⑤ カイトリ

家にある価値はあるけど使わないモノを当基金へ寄付できる買取寄付プログラム「カイトリ」に登録している。

■提携先：(株) シン・ファンドレイジングパートナーズ、寄付金額：¥0

⑥ モノキフ

家で眠ったままになっている大切な思い出の品を、ヤフオクにて販売し、提供者の指定の割合をきふできる仕組みに登録している。

■提携先：(一社) ウルノス 寄付金額：¥0

⑦ その他

1) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金額：¥12,000

2) 募金箱・自販機募金 協力設置場所：3ヶ所 募金金額：¥48,431.-

3) 印税寄付 「災害看護の本質」による印税寄付 寄付金額：¥0

4) Gochiso レストランで食事をすると寄付できるしくみ 寄付金額：¥0

## エ) 遺贈寄付

### 遺贈のご案内

ホームページに遺贈のページを掲載している。またお問い合わせいただいた方を訪問しご説明した。

### 3 中間支援事業

#### ア) 「つなごう神戸」運営事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」は、ボランティアしたい人と NPO や市民活動団体をつなぐとともに、社会貢献をめざす企業が協働先を探すお手伝いをする、マッチングサイトとして、神戸市との協働で運営した。

##### 1) 運営協議会

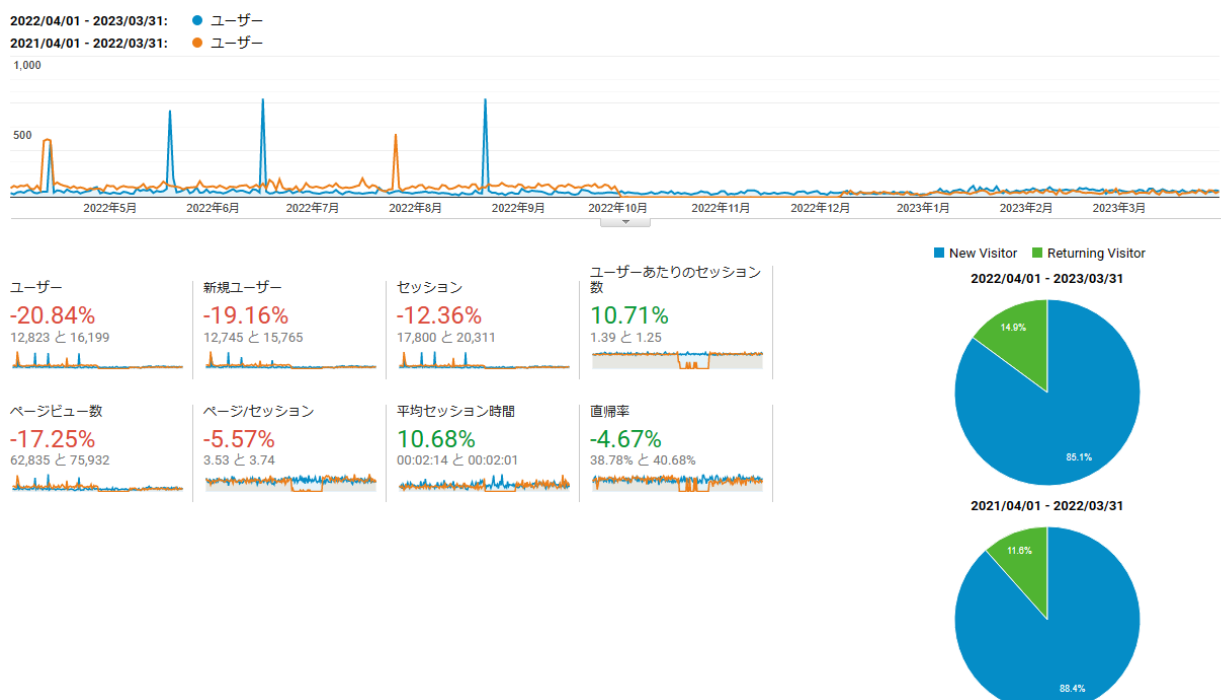
- ①委員の構成：フェリシモさんが退任されたため、日本たばこ産業(株)から新たな委員を迎えた。  
認定 NPO 法人しみん基金・KOBÉ、竹の台地域委員会、日本たばこ産業(株)株式会社キットシステム、大学コンソーシアムひょうご、神戸市企画調整局つなぐラボ、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
- ②協議会の実施：第 1 回：5 月 27 日(金)10:30～11:30      KIITO:300  
第 2 回：10 月 21 日(金) 15:00～16:00      KIITO:300  
第 3 回：3 月 20 日(月) 13:00～14:30      市役所企画調整局会議室

##### 2) 実施内容

- ①サイト管理  
問い合わせ日常業務対応  
メルマガ発信 121 号～146 号・SNS 活用  
メール不通団体への連絡・処理  
行政情報転載
- ②数字で見る神戸の社会課題コンテンツ作成
- ③協賛金獲得営業活動
- ④事業自己評価

##### 3) 成果

- ①登録団体数：566 団体（前年度 18 団体増）、  
個人 570 名（登録 510 名（前年度 88 人増）、非登録 60 名（前年度 46 名増））
- ②つながり数:375 件(前年度 158 件増)



## イ) KIITO : 300 社会貢献事業

新設された KIITO:300 において実施される相談事業や講座事業に関わった。また月 1 回の運営会議に出席した。

- ①運営会議：4/20、5/18、7/1、8/3、9/21、10/17、11/16、12/19
- ②相談対応：2件 5/19、11/17
- ③講座：9/21 300 秒プレゼン交流会 市民活動の助成と活動実績について

## ウ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行：3回
  - 1. 第 57 号：2022 年 7 月、第 58 号：2022 年 12 月、第 59 号：2023 年 3 月
  - 2. ホームページに掲載
- ② ホームページ、SNS：トップページ、助成事業等の適宜更新
  - 1. 最新記事を 16 本掲載。 FB：最新記事を 17 本掲載
  - 2. 移転に伴う HP 記載変更
- ③ メルマガ等発行：4回
- ④ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(202 年度)
  - 1. 表示回数 29,542 回 クリック数 2,033 回 クリック率 6.88%

## エ) NPO 支援活動

- ① 居場所サミット
  - 日時：8 月 15 日（日） 14：00～17：00
  - 場所：コープこうべ生活文化センター
  - 実行委員会：4/22、5/13、6/8、8/1、9/14
- ③ 兵庫県共同募金配分委員会
  - 第 2 回日時：7/22 13 時
  - 場所：兵庫県立美術館
  - 第 3 回日時：11/14 13 時
  - 場所：兵庫県福祉センター
  - 第 5 回日時：3/2 13 時
  - 場所：兵庫県福祉センター

## オ) 神戸新聞事業社との連携による防災啓発イベント事業

コロナ禍により、カンパイ KOBE 自体が中止となったため、本事業も中止した。

## 4 運営管理

### ア) 会議

#### ① 定時総会

開催日：2022年6月15日（水）18:00～19:00

開催場所：基金事務所

出席会員数：20名（うち委任状提出11名）、正会員数：30名

- 審議事項：（1）2021年度事業報告並びに決算報告  
（2）2022年度事業計画案並びに予算計画案  
（3）役員改選について  
（4）定款変更について  
（5）基本財産取り崩しについて

#### ② 理事会

- 2022年5月16日（月） 開催場所：基金事務所  
審議事項：2022年度定時総会（6/15）に付議する事項の件、年度スケジュール
- 2022年6月15日（水） 開催場所：基金事務所  
審議事項：理事の互選、貸金規定
- 2022年9月13日（火） 開催場所：オンライン  
審議事項：一般枠及び特定枠の書類選考、「黒田裕子賞」の選考、ヒアリングについて、規定類の確認・
- 2022年10月27日（木） 開催場所：こうべまちづくり会館  
審議事項：助成先団体・金額の決定、「しみん基金 KOBE 特別賞」の選考
- 2023年3月1日（水）15：30～17：00 開催場所：オンライン  
審議事項：2022年度事業報告、2022年度決算見込み、2023年度事業計画、監事について

#### ④ 監査 2022年5月6日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ 事務所 監事（敬称略）：森田拓也氏、濱西敏郎氏

#### ⑤ 理事・審査員合同会議

2022年7月11日（月） 開催場所：基金事務所

議事内容：助成概要の変更点、公開審査会までのスケジュール、審査基準、ヒアリングシートについて、審査会の開催方法

### イ) 管理等

- ①所轄庁への事業報告書提出 6/27
- ②認定法人関係報告書提出 6/27
- ③会員向けに、年賀状・毎月お誕生日カードの送付
- ④正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳	未納者数
個人	29	26	1名賛助会員に移行	220,000		4人
団体	2	3		90,000	神戸 JC 加入	
合計	31	29		310,000		

## ウ) 運営上の重要事項

### ① 休眠預金資金分配団体申請

コミュニティ・サポートセンター神戸とコンソーシアムを組み、通常枠第1次募集への申請に向け、個別相談と会議を重ね6月30日に申請したが、採択には至らなかった。  
来年度再度申請することに決定し、下記団体にヒアリングを実施し、それを踏まえて企画案を作成した。

個別相談と会議：4/25, 26 (説明会)、5/9、5/30、6/20、10/24、12/5

ヒアリング：6/7	(一社) NEW LOOK	中村局長、山村さん、戸田
11/4	(一社) ワカツク	中村局長、黒子課長、戸田
11/9	神戸市教育委員会	中村局長、黒子課長、戸田
11/15	(特活) サンカクシャ	中村局長、黒子課長、戸田
11/18	(特活) ユースネット	中村局長、戸田
2/2	(公財) 神戸 YMCA	中村局長、黒子課長、戸田
2/10	(社福) 神戸実業学院	戸田
3/22	神戸市役所	中村局長、黒子係長、飛田さん、戎、戸田

② 中央区ボランティアルームの移転により、7/14 に事務所を移転した。

③ NPO 法人ドットジェイピーよりインターンを夏休み1名受け入れた。

④ 神戸市主催の「NPO 地域貢献活動フェア」に参加し2名のボランティアトライアルを受け入れた。

説明会：12/21

NPO 地域貢献活動フェア：1/18